

もくもくもくとメガムンドウン

大きな湖 小さな身体

Like a puffy cloud,
Like a puffy slug,
I want to run away.

逃げ足の意外と早いなめくじり

ジャワ舞踊家の佐久間新による 3回シリーズのワークショッププログラム

〔第1回〕2020年**10**月**3**日(土)

〔第2回〕2020年**11**月**7**日(土)

〔第3回〕2020年**11**月**21**日(土)

3回通しの参加をオススメしますが、連続参加でなくても参加可能です。
詳細は裏面をご覧ください。

〔主催〕 ながらの座・座(元・正蔵坊と古庭園を楽しみ守る会)

〔後援〕 滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会
文化・経済フォーラム滋賀

〔特別協賛〕 中山倉庫株式会社、滋賀石油株式会社

〔協賛〕 あさ・ひる・夕ごはん 豆藤

〔協力〕 NPO法人とんがるちから研究所、滋賀大学 環境総合研究センター

Design by Hirofumi Takeoka [take-co-mai Co.Ltd.]

身・水・湖 みずみづみ

琵琶湖を身体で感じ、あらわすワークショップ

令和二年度

滋賀県「美の滋賀」プロジェクト推進事業

日本最大の湖を擁する滋賀の地で様々な
「水」を手がかりに身体感覚を研ぎ澄まし、
琵琶湖とその周辺を存分に感じ、「言葉」や
「音楽」、「ダンス」で表現する試みです。
「連歌」のようにあるひとつの創作が波紋
のようにインスピレーションを広げ、新たな
創作を生む「座(創発の場)」をつくります。
築370年の日本家屋と古庭園、さらには
琵琶湖を中心とする滋賀を舞台に展開す
るひろがる創作の波紋をお楽しみください。

琵琶湖なまずが出できたる

黒雲走り雷騒ぐかな

よみびとしらずゆくえしらず

ゲコゲコゲコゲコ

よいとよいやまっかどっこいさのせ



文化で滋賀を元気に!

ZaZa

<http://nagara-zaza.net/>



季節のうつろいや風・水の機微を感じ、自然とともに暮らしてきた琵琶湖周辺の人びと。昨年スタートした本シリーズは、「水」をテーマに小さな水である身体の水と大きな水である湖について、試行的なワークショップに取り組んできました。

2年目となる本年は、1年目の参加者ともミーティングを重ね*、「連歌」という日本で古来より親しまれてきた手法に着目しました。身体を軸に「言葉」と「音楽」と「ダンス」を創作する3回のワークショップを展開します。

身近な自然から凝縮した言葉を編み出すことは即興を大切に作るアジアのダンスに、何人もの人で創作することは社会と関わる現代のアートに、つながっています。伝統と現代、アートのジャンルが浸透する場を一緒にうみだしませんか。

ながらの座・座 <http://nagara-zaza.net/>

〔第1回(10月3日)・第2回(11月7日) ワークショップ会場〕

「ながらの座・座」とは、登録有形文化財「橋本家住宅(旧・正蔵坊)」とその庭園を総称したものです。歴史ある環境が次々と壊されていく時代にあって、古い日本建築の持つ柔らかな空間や自然のホールともいえる古庭園を「生き物」として慈しみ、ここから実現できるクオリティの高い様々なパフォーマンス、実験的な試みなどを積極的に取り上げることがコンセプトに、楽しみながら文化財を保存・維持することを目指しています。

*[企画会議メンバー] 佐久間新(ジャワ舞踊家)、鈴木潤(音楽家)、阿蓮(俳句作家)、池上かの(English School 主宰)、井口淳子(民族音楽学)、近藤紀章(都市研究家)、竹岡寛文(デザイナー)、橋本敏子(ながらの座・座主宰)、吉村まりな、ヤマザキミホコ

プログラム program プログラムの内容は変更になる場合があります。

ジャワ舞踊家の佐久間新による3回シリーズのワークショッププログラム。各回とも身体を動かして、感覚を呼び覚ますことから始めます。3回を通し、身体感覚から創造を再発見すること、伝統芸術を開きもっと多様な人々で楽しむことを目指します。

〔第1回〕うたをよむ Compose songs and Dance

2020年10月3日(土) 定員15名

13:00~17:00頃 @ながらの座・座周辺

「ながらの座・座」を起点に周辺を散策します。身体の高め、季節や自然の機微をしっかりと感じながら歩きます。その体験を素に、参加者全員で「座・座様式」の新しい連歌づくりに取り組みます。

〔第2回〕うたをうたう Sing songs and Dance

2020年11月7日(土) 定員15名

13:00~17:00頃 @ながらの座・座

昨年のプログラムにもゲストミュージシャンとして参加いただいた音楽家の鈴木潤を招いてワークショップを実施します。第1回の連歌づくりにインスピレーションを得て、さらに音楽へと展開します。

〔第3回〕うたい おどる Sing and Dance

2020年11月21日(土) 定員20名

10:00~17:00頃 ※昼食は各自ご持参ください。

@竹生島+今津港周辺琵琶湖岸(今津港集合解散)

第1回・第2回の連歌や音楽を発展させて「おどり」を創作します。この日は近江今津港から定期観光船に乗り、竹生島へも訪れる予定です。ジャワ舞踊家の佐久間新が一連のプログラムの中で着想を得た作品も公開します。

3回通しでのご参加をオススメしますが、各回ごとの参加も可能です。ご参加の際は検温・消毒・マスク着用など新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力ください。

【ふりかえりトーク&ライブ】3回のワークショップの様子を映像や写真などで記録し、創作した作品とともにふりかえる機会として佐久間新と鈴木潤を中心に参加者も交えたトークとライブを企画しています。

2021年1月末頃、参加無料(予定) 詳細は、ながらの座・座ウェブサイト。

参加費 entry fee 3回通し券 9,000円

第1回 3,000円/第2回 3,000円/第3回 4,000円
小学生・中学生は、上記金額の半額(各回・3回通し券いずれも)

参加費には佐久間新パフォーマンス観覧料および保険代を含みます。各回参加費は当日、3回通し券代金は第1回受付時にお支払いください。一度申し受けた代金は、主催者都合による中止の場合を除き、返金はできません。ご了承ください。

第3回の参加には今津港や竹生島のクルーズ船の乗船料が別途必要です。

〈琵琶湖汽船乗船料〉大人 2,640円/学生 2,120円/小学生 1,320円

申し込み・問い合わせ application & contact

ウェブサイトの申込フォーム(<http://nagara-zaza.net/contact/>)またはFAX(077-522-2926)にて住所、氏名、連絡先(携帯番号・メールアドレス)、ご希望の参加回を添えて、お申し込みください(申込先着順/定員になり次第終了)。



ながらの座・座 事務局 滋賀県大津市小関町3-10 アクセス→

Tel/Fax 077-522-2926 Mobile 090-8576-7999(橋本)

アーティスト プロフィール artists profile

第1・2・3回ワークショップファシリテーター

佐久間 新 ジャワ舞踊家。1968年大阪生まれ。20歳頃、流れる水のように舞うジャワの舞踊家ベン・スハルト氏に出会い、自分のご先祖さまに会ったと直感。その後、インドネシア芸術大学への留学を経て、現在は伝統舞踊におけるからだのありようを探究する中から様々なプロジェクトを推進。からだへの問いかけとそこから生まれる言葉で話す「からだトーク」(大阪大学)、障害のある人と新しいダンスを創る「ひるのダンス」(たんぼぼの家・奈良)、マイノリティの人とのダンス映像制作(CROSSROAD ARTS・オーストラリア)等。共著に「ソーシャルアート 障害のある人とアートで社会を変える」(学芸出版社)。



第2回ゲストミュージシャン

鈴木 潤 鍵盤プレイヤー。作曲家。国内外アーティストのレコーディングやライブ等で活躍後、ソロ活動を開始。日本家屋に合う小さな音の楽器ユニット「カネタタキ」、ストーリー音楽(絵本と即興演奏「おはなしピアノ」や人形劇の劇伴作曲)など幅広く活動。演奏活動と並行して2000年頃から、完全放置型の即興創作音楽ワークショップ「音の砂場」を幼稚園、障害者施設、老人ホームなどで続けている。www.suzukijun.com

